

## 【南九州地区納税貯蓄組合連合会会長賞】

### 私たちを支える税金

菊池市立菊池北中学校

三年 川上 夢佳

私の祖母は認知症を患っており、最近介護度が上がったため、デイサービスから老人ホームへ移りました。祖母はいつもおいしいご飯をつくってくれて、私を可愛がってくれました。それがある時から、つくる量が増え、味付けも濃くなっていき、何かがおかしいと思いはじめました。認知症だと分かってから何年か経ち、祖母は私のことを忘れてしまったようでした。「どこから来たの。」「いくつ、名前は。」を何度も尋ねます。その度に同じことを繰り返し答えました。たまに、認知症は嘘なのかと思うほど、はっきり会話できる時もあり、私はただただ混乱していました。

祖母が老人ホームへ入居するのと同じくらいの時、私は学校で租税教室を受けました。私は消費税のことくらいしか知りませんでした。税のしくみや、納税の意味、何に使われているのか説明を聞き、多くの税があることを知りました。帰って父にも聞いてみると、老人ホームにも税金が使われていると教えてくれました。そこで、税金と老人ホームの関係を調べました。

税金は、国民が納める公共財を支えるためのお金で、その一部が高齢者福祉に充てられています。安全で快適な空間やスタッフによるケアなど、高齢者の方々が過ごしやすい環境が提供されています。老人ホームでは家族での介護が困難な場合、高齢者の方の生活の介護や支援が行われています。

税金が無かった場合、施設の整備や運営が困難になり十分な支援ができなくなります。また、財源が欠如するため、老人ホームの運営にかかる負担が、高齢者やその家族に移されるかもしれません。

老人ホームなどの福祉施設は、高齢者の方だけでなく、その家族や地域の人々にとっても大きな支えとなります。税金を納めることで、私たちは社会全体の福祉に貢献し、高齢者の方が豊かな人生を送ることができるようになります。

税金は祖母が暮らす老人ホームの維持や整備に充てられ、必要な支援を受けながら安心して過ごせる環境を提供する役割を果たしています。私たちが納めている税金は、決して無駄なものではなく、社会を支えるためのものと改めて学びました。祖母が安全で快適な生活を送り、いつまでも笑顔で、必要なケアを十分に受けながら過ごせることを願っています。

税金は、実感できていないだけで、日本国民が手を取り合い支えあっているものなのです。顔も名前も知らない誰かから、納税というかたちで、安全な暮らしのために支援を受けています。だから税金は私たちを支える重要なお金であるのです。

これからも誰かを支えるお金だという意識で、快く税を納めたいと思います。